

大江泰喜と猪原秀陽

漫画と遺跡

「ポップ」とは何か。かつて作者が選択したアクションや色彩、それらのコンポジションを作品の主題に据えたモダンアートに対し、ウォーホルのような作家は誰もが知るスターのポートレイトを絵画化したりすることで、芸術に「象徴性」を取り戻そうとしました。

こうした歴史の中で「ポップな表現」とは、作者のパーソナリティとは独立した「アイコン」を創造する行為だと、作者個人の意思を主題化する「アート」と相対して認識されてきた部分があります。

しかし「ポップ」の成立条件はもっと多様ではないか。そうした思いに至り、この度2人展を企画しました。侵しがたい情熱によって有名建造物を紙工作でビルドする大江泰喜。奔放なスタイルによって漫画表現の定石を解体する猪原秀陽。「何を描いたか」と「どう描いたか」という二つの主題が交錯する中に、確かに宿されたポップネス。そんな両者の創造性を組み合わせ、その先に照らされる未来を探りたいと思います。



大江泰喜【コロコバードのキリスト像】2020

2021.05.07 (FRI) ~ 05.30 (SUN)

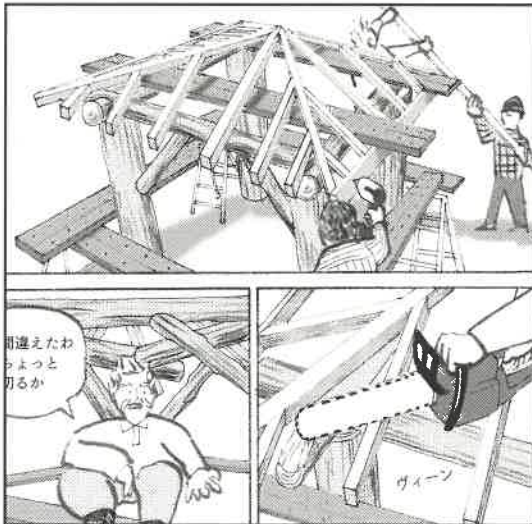
13:00 → 20:00 *最終日は17:00まで。金土日のみ営業

TOWED

〒131-0046
東京都墨田区京島2-24-8
gallery TOWED(ギャラリートウド)
gallery.towed@gmail.com



東武鉄道亀戸線 小村井駅より徒歩8分
京成電鉄押上線 京成曳舟駅より徒歩10分
東武スカイツリーライン・東武亀戸線 曳舟駅より徒歩13分



猪原秀陽【東屋】(漫画【二人は旅の途中】より) 2015